

# 景 気 動 向 調 査

( 第 184 回 )

2017 年 1 月 ~ 3 月期実績

2017 年 4 月 ~ 6 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

## 目 次

調査要領	.....	1
概 況	.....	2
1．県内景況感について	.....	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	.....	5
(2) 仕入高または生産高	.....	6
(3) 在 庫	.....	7
(4) 収 益	.....	8
(5) 販売価格・仕入価格	.....	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	.....	10
(2) 設備投資の目的	.....	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	.....	12
(2) 現金・預金	.....	13
(3) 金融機関借入	.....	13
(4) 販売代金回収期間	.....	14
(5) 仕入代金決済期間	.....	14
5．経営上の問題点について	.....	15



## 概 況

2017年1～3月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 56.6 と前期（2016年10月～12月期） 51.6 と比較し、5.0ポイント低下した。  
2017年4～6月期は、個別項目を見ると低下幅が縮小し、景況感は一時的に上昇する見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	1～3月期実績	4～6月期見通し
景況感	56.6	48.2
売上高・出荷高	22.2	16.7
収益	25.0	23.5
販売価格	3.4	0.7
仕入価格	19.3	19.6
資金繰り	11.4	11.5

### ・岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第 153 回	09年1～3月	92.7
2	第 152 回	08年10～12月	91.3
3	第 124 回	01年10～12月	91.2
4	第 109 回	98年1～3月	90.6
5	第 111 回	98年7～9月	90.0

（1971（昭和46）年以降）

### <岩手県の参考データ>

#### ・有効求人倍率の推移

##### 平成28年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.28	1.28	1.32	1.32	1.24	1.28	1.30	1.29	1.33	1.37	1.37	

##### 平成27年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.20	1.23	1.21	1.27	1.27	1.21	1.22	1.22	1.20	1.23	1.24	1.25

#### ・新設住宅着工戸数の推移

##### 平成28年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
581	780	852	807	687	611	827	736	635	454	493	

##### 平成27年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
742	725	887	726	852	663	664	773	680	654	558	498

## 1．県内景況感について

全体のD Iは、 56.6であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が 53.0、建設業が 64.9、卸・小売業が 54.7 と、前回調査時と比べて景況感は、製造業と建設業は低下、卸・小売業はやや上昇した。

4～6月期見通しでは、製造業が 45.0、建設業が 54.0、卸・小売業は 47.6 と、全業種において、やや上向き見通しとなっている。

## 2．業況について

### (1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では 22.2であった。業種別では、製造業が 29.1、建設業が 24.3、卸・小売業が 15.6である。

### (2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが 14.3、卸・小売業の仕入高は 12.9となった。

### (3) 在 庫

製造業の製品在庫D Iは 20.8、卸・小売業の商品在庫は 18.0となった。

### (4) 収 益

D Iは、全体では 25.0であった。業種別では、製造業が 22.6、建設業が 14.0、卸・小売業が 33.3である。

### (5) 販売価格・仕入価格

販売価格は 3.4、仕入価格は 19.3であった。

## 3．設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は 25.9%となっている。

業種別では、製造業が 28.6%、建設業が 24.3%、卸・小売業が 24.6%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となった。

## 4．資金繰り状況について

D Iは、全体では 11.4であった。業種別では、製造業が 8.2、建設業が 16.6、卸・小売業が 11.0である。

## 5．経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「人手不足」、「収益不振」、「過当競争」、「原材料・仕入価格高」が上位を占めている。

# 1. 県内景況感について

～ 実績は、製造業と建設業は低下、卸・小売業はやや上昇した ～

[1～3月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が4.0%（前期3.9%）、「悪い」が60.6%（同55.5%）で、DIは 56.6（同 51.6）と、前期に比べて5.0ポイント低下した。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 53.0（同 48.0）、建設業が 64.9（同 43.8）、卸・小売業が 54.7（同 57.6）となっており、製造業と建設業はやや低下、卸・小売業はやや上昇した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が6.1%、「悪くなる」が54.3%であることから、DIは 48.2となり、1～3月期実績と比較して、若干ながら上昇する見通しとなっている。

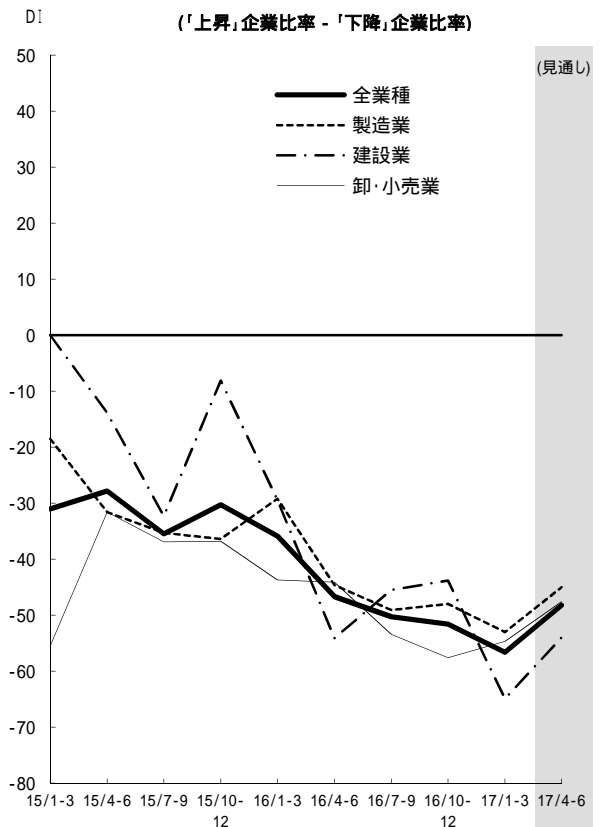
業種別にみると、製造業が 45.0、建設業が 54.0、卸・小売業が 47.6となっており、全業種において、やや上向き見通しである。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	1～3月 (実績)	0.0	4.0	35.4	49.3	11.3	-56.6
	4～6月 (見通し)	0.7	5.4	39.6	45.6	8.7	-48.2
(製造業)	1～3月 (実績)	0.0	6.1	34.8	46.9	12.2	-53.0
	4～6月 (見通し)	2.0	4.1	42.8	42.9	8.2	-45.0
(建設業)	1～3月 (実績)	0.0	5.4	24.3	56.8	13.5	-64.9
	4～6月 (見通し)	0.0	8.1	29.8	45.9	16.2	-54.0
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	0.0	1.6	42.1	46.9	9.4	-54.7
	4～6月 (見通し)	0.0	4.8	42.8	47.6	4.8	-47.6

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

～ 実績は製造業と建設業は低下、卸・小売業はやや上昇 ～

[1～3月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が26.2%(前期27.6%)、「減少」が48.4%(同48.7%)となり、D Iは、22.2(同 21.1)と1.1ポイント低下した。

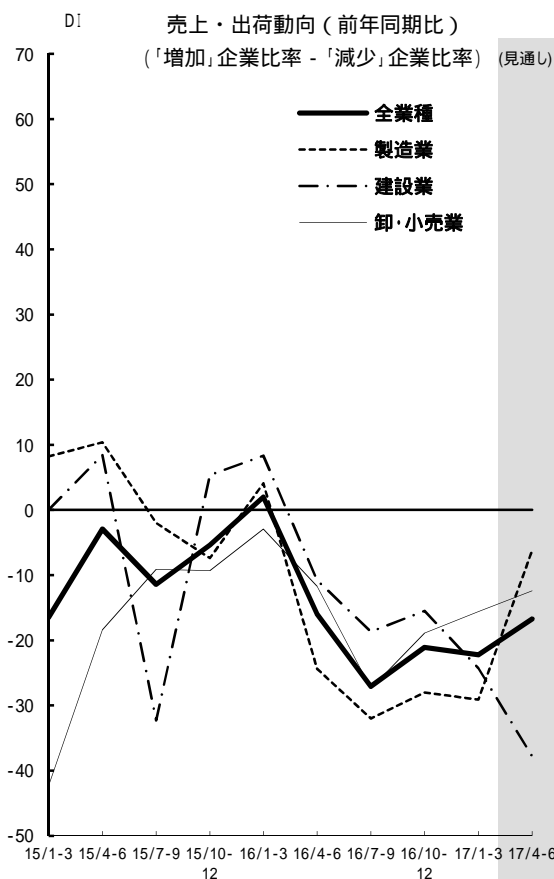
業種別にD Iをみると、製造業 29.1(前期 28.0)、建設業 24.3(同 15.5)、卸・小売業は 15.6(同 18.9)となっており、製造業と建設業は低下、卸・小売業はやや上昇した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が24.6%、「減少」が41.3%であることから、D Iは 16.7となり1～3月期実績と比較して、上昇する見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業で 6.2、建設業で 37.8、卸・小売業で 12.4となっており製造業と卸・小売業は上昇、建設業は低下する見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

		D I					D I
		増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1～3月(実績)	5.4	20.8	25.4	35.6	12.8	-22.2
	4～6月(見通し)	3.3	21.3	34.1	34.0	7.3	-16.7
(製造業)	1～3月(実績)	6.3	16.7	24.9	39.6	12.5	-29.1
	4～6月(見通し)	4.1	22.4	40.8	24.5	8.2	-6.2
(建設業)	1～3月(実績)	10.8	18.9	16.3	37.8	16.2	-24.3
	4～6月(見通し)	5.4	13.5	24.4	43.2	13.5	-37.8
(卸・小売業)	1～3月(実績)	1.6	25.0	31.2	31.3	10.9	-15.6
	4～6月(見通し)	1.6	25.0	34.4	35.9	3.1	-12.4



(2) 仕入高または生産高

～ 実績は製造業、卸・小売業ともに低下 ～

[1～3月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が24.5%（前期22.0%）、「減少」が38.8%（同48.0%）でありDIは14.3（同26.0）と11.7ポイント低下した。

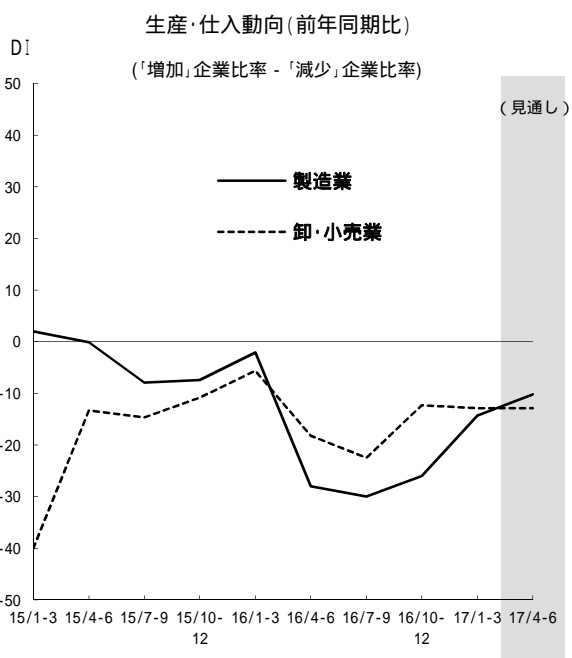
卸・小売業（仕入高）では「増加」と答えた企業は27.4%（前期31.5%）、「減少」が40.3%（同49.3%）で、DIは12.9（同12.3）と0.6ポイント低下した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については「増加」と答えた企業が22.4%、「減少」が32.6%であることから、DIは、10.2で、1～3月期実績と比較して、7.8ポイント上昇する見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が24.2%、「減少」が37.1%であることから、DIは12.9で、1～3月期実績と比較し横ばいの見通しとなっている。

生産高または仕入高（前年同期比）

		（%）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
（製造業）	1～3月 （実績）	8.2	16.3	36.7	32.7	6.1	-14.3
	4～6月 （見通し）	6.1	16.3	45.0	26.5	6.1	-10.2
（卸・小売業）	1～3月 （実績）	1.6	25.8	32.3	30.6	9.7	-12.9
	4～6月 （見通し）	1.6	22.6	38.7	35.5	1.6	-12.9





(3) 在 庫

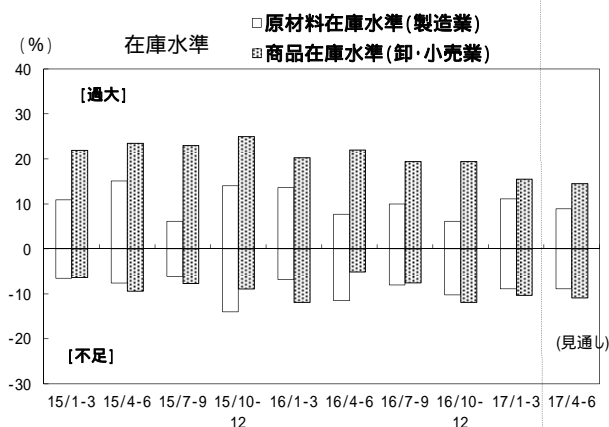
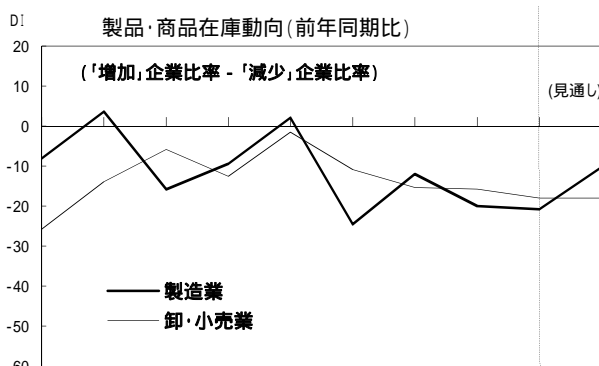
～ 在庫実績は製造業は横ばい、卸・小売業は低下 ～

[1～3月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は16.7%（前期16.0%）、「減少」が37.5%（同36.0%）であることから、DIは 20.8（同 20.0）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が10.4%（同8.0%）、「適正」が70.8%（同78.0%）、「不足」が18.8%（同14.0%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が9.8%（前期10.0%）、「減少」は27.8%（同25.7%）であることから、DIは 18.0（同 15.7）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が15.5%（同19.4%）、「適正」が74.2%（同68.7%）、「不足」が10.3%（同11.9%）である。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が16.3%、「減少」が26.5%で、DIは 10.2となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が8.5%、「適正」が72.4%、「不足」が19.1%である。卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が6.6%、「減少」が24.6%であることから、DIは 18.0となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が14.5%、「適正」が74.6%、「不足」が10.9%である。

製品・商品在庫(前年同期比)

		（%）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	1～3月 （実績）	4.2	12.5	45.8	37.5	0.0	-20.8
	4～6月 （見通し）	2.0	14.3	57.2	20.4	6.1	-10.2
（卸・小売業）	1～3月 （実績）	1.6	8.2	62.4	26.2	1.6	-18.0
	4～6月 （見通し）	0.0	6.6	68.8	23.0	1.6	-18.0



#### (4) 収 益

～ 実績は製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇 ～

[1～3月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が22.3%（前期26.3%）、「減少」が47.3%（同43.4%）であり、DIは、25.0（同 17.1）となり、7.9ポイント低下した。

業種別にDIをみると、製造業 22.6（前期 8.1）、建設業 14.0（同 25.0）、卸・小売業 33.3（同 25.0）となっており、製造業と卸・小売業は低下、建設業は上昇。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）を見ると、全業種では「増加」とみる企業が19.5%、「減少」とみる企業も43.0%であることから、DIは 23.5で、1～3月期実績と比較してやや上昇する見通しである。

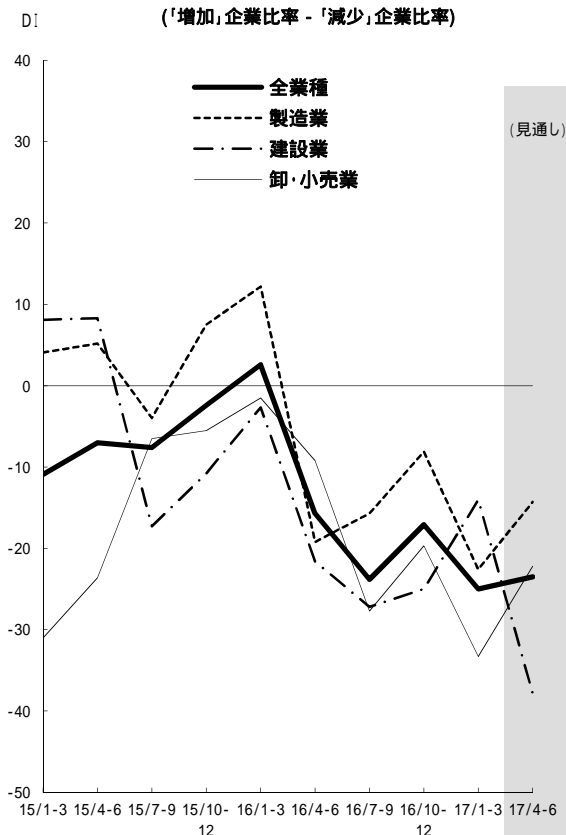
業種別にDIをみると、製造業 14.3、建設業 37.8、卸・小売業 22.2で、1～3月期実績と比較して、製造業と卸・小売業は上昇、建設業は低下する見通しである。

収 益(前年同期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1～3月 (実績)	2.7	19.6	30.4	35.1	12.2	-25.0
	4～6月 (見通し)	2.7	16.8	37.5	33.6	9.4	-23.5
(製造業)	1～3月 (実績)	2.0	22.4	28.6	32.7	14.3	-22.6
	4～6月 (見通し)	4.1	20.4	36.7	30.6	8.2	-14.3
(建設業)	1～3月 (実績)	8.3	25.0	19.4	30.6	16.7	-14.0
	4～6月 (見通し)	5.4	10.8	29.8	35.1	18.9	-37.8
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	0.0	14.3	38.1	39.7	7.9	-33.3
	4～6月 (見通し)	0.0	17.5	42.8	34.9	4.8	-22.2

収益動向(前年同期比)

(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)



(5) 販売価格・仕入価格

～ 実績は販売価格は低下、仕入価格は上昇 ～

[1～3月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が9.5%（前期12.1%）、「低下」が12.9%（同12.2%）であることから、DIは 3.4（同 3.3）と低下した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が26.1%（前期22.6%）「低下」が6.8%（同10.9%）であることから、DIは19.3（同12.2）と上昇した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が9.5%、「低下」とみる企業が10.2%であることから、DIは 0.7と上昇する見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が29.1%、「低下」とみる企業が9.5%であることからDIは19.6と上昇する見通しとなっている。

販売価格(前年同期比)

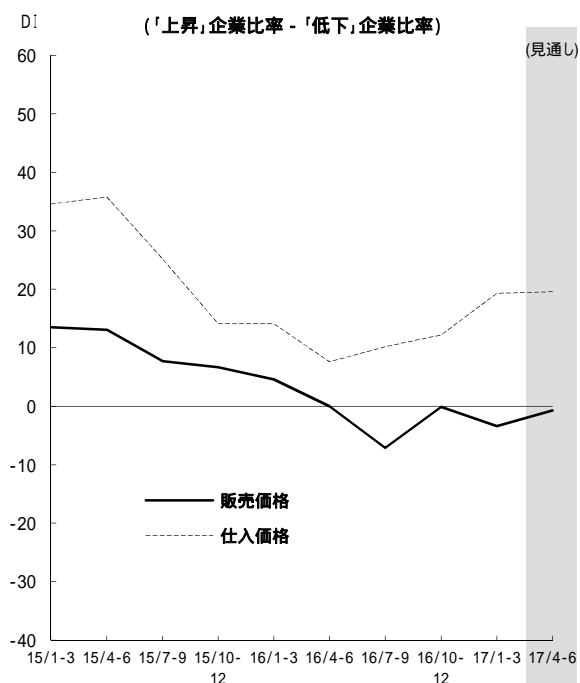
		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	0.0	9.5	77.6	12.2	0.7	-3.4
	4～6月 (見通し)	0.0	9.5	80.3	9.5	0.7	-0.7

仕入価格(前年同期比)

		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	1.4	24.7	67.1	6.8	0.0	19.3
	4～6月 (見通し)	0.7	28.4	61.4	9.5	0.0	19.6

価格動向(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「低下」企業比率)



### 3.設備投資の動向について

#### (1) 設備投資の実施状況

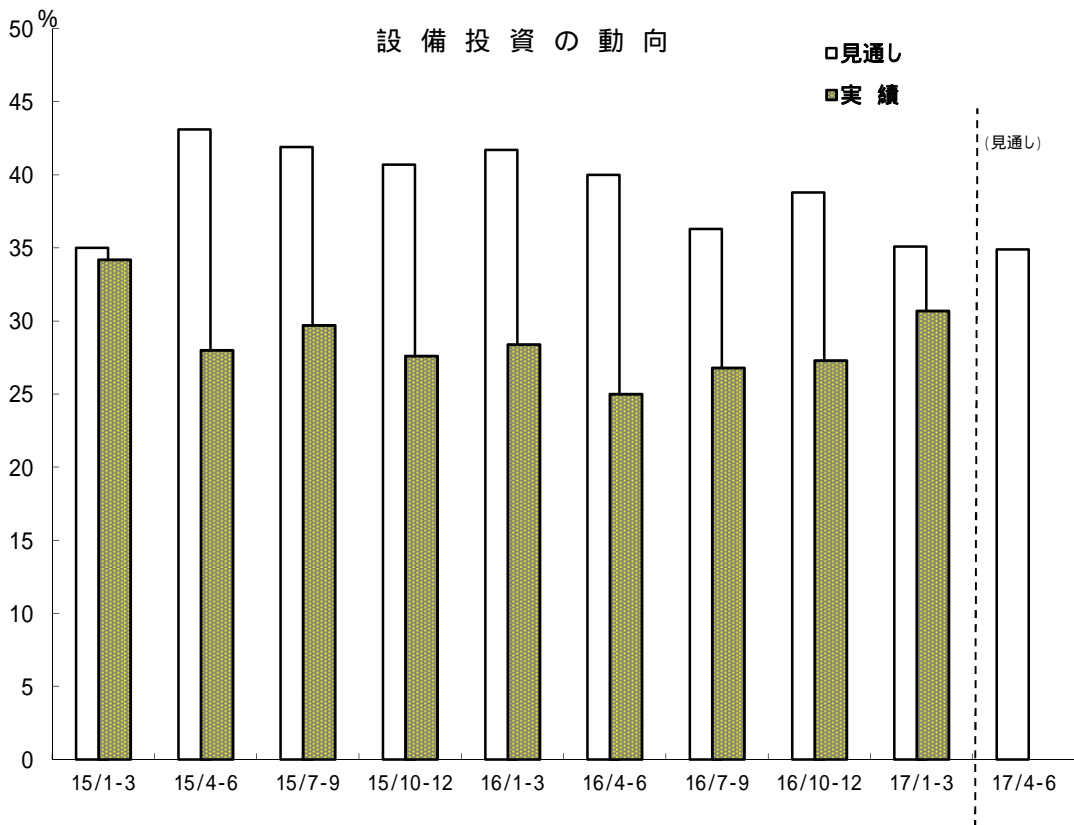
～ 実績は製造業は低下、建設業は横ばい、卸・小売業は上昇 ～

[1～3月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は30.7%（前期27.3%）と前期比上昇した。

これを業種別にみると、製造業32.7%（前期38.0%）、建設業24.3%（同25.0%）、卸・小売業32.8%（同20.9%）であり、製造業は低下、建設業は横ばい、卸・小売業は上昇した。

[4～6月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で18.5%（前期20.8%）、「計画はあるが具体化していない」は16.4%（同14.3%）、「計画はない」は65.1%（同64.9%）であった。「計画あり」は合計34.9%となっている。

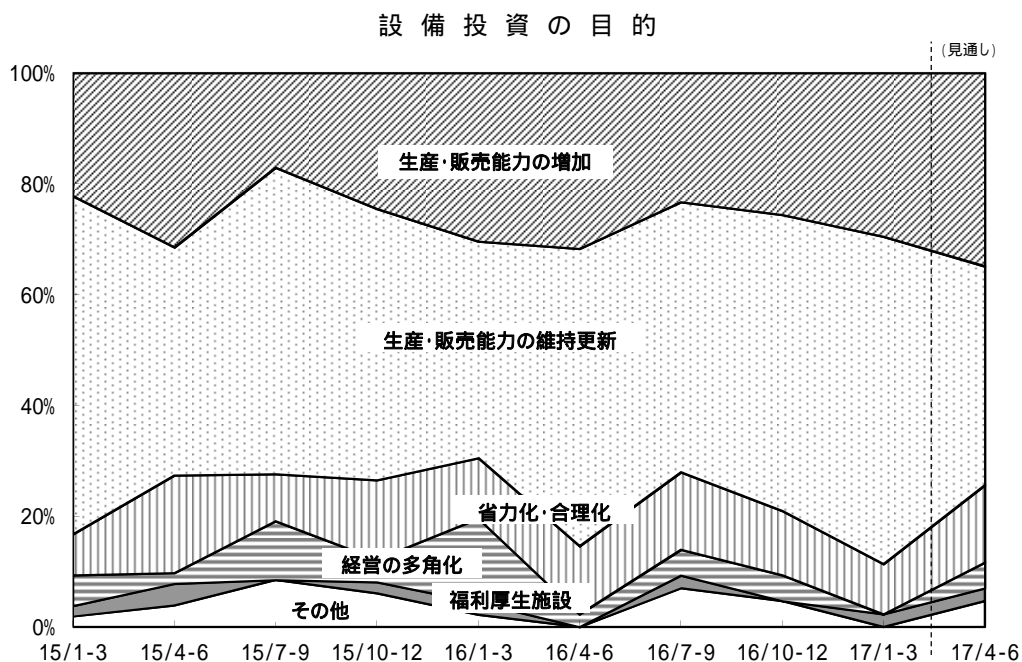
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で43.7%（前期48.0%）、建設業で24.3%（同21.9%）、卸・小売業で34.4%（同31.9%）の見通しとなっている。



## (2) 設備投資の目的

[1～3月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(25.9%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が59.1%（前期53.5%）でトップとなり「生産・販売能力の増加」が29.5%（同25.6%）で2位となった。業種別で見ると、全業種が「生産・販売能力の維持更新」がトップであった。

[4～6月期の見通し] 今後3カ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(18.5%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が39.5%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」34.9%、「省力化・合理化」が14.0%で3位となっている。



## 4. 資金繰り状況について

### (1) 資金繰り状況

～ 実績は全業種で低下、見通しは建設業と卸・小売業は上昇予想 ～

[1～3月期の実績] 資金繰り状況(前期比)は、全業種では、「楽になった」とする企業が14.1%(前期17.0%)、「苦しくなった」が25.5%(同22.2%)であることから、DIは11.4(同5.2)と低下した。

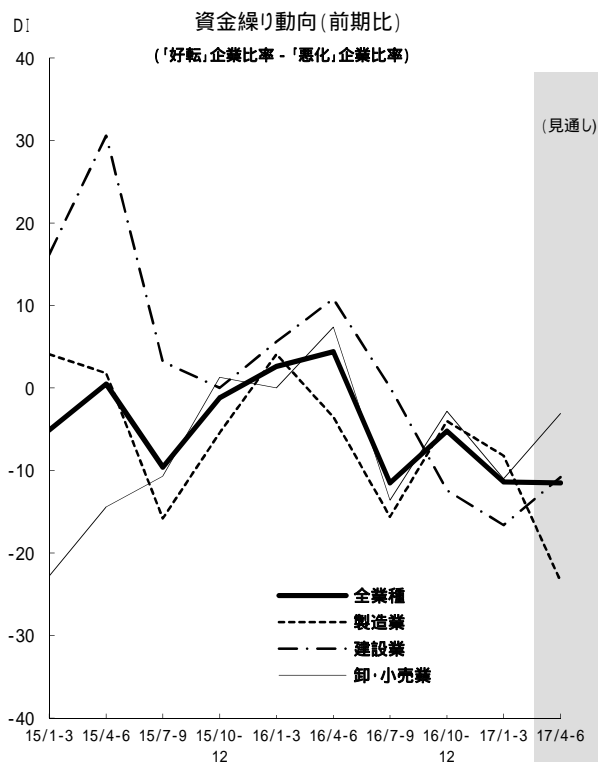
業種別にDIをみると、製造業が8.2(前期4.0)、建設業が16.6(同12.4)、卸・小売業は11.0(同2.8)と、全業種で低下した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期の見通し(当期比)をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が11.5%、「苦しくなる」が23.0%で、DIは11.5となり、1～3月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業23.4、建設業10.8、卸・小売業3.1となっており、製造業は低下、建設業と卸・小売業は上昇する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		(% )						
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	DI	
全業種	1～3月 (実績)	2.0	12.1	60.4	20.1	5.4	-11.4	
	4～6月 (見通し)	0.7	10.8	65.5	18.9	4.1	-11.5	
(製造業)	1～3月 (実績)	2.0	16.3	55.2	20.4	6.1	-8.2	
	4～6月 (見通し)	0.0	6.4	63.8	21.3	8.5	-23.4	
(建設業)	1～3月 (実績)	5.6	5.6	61.0	22.2	5.6	-16.6	
	4～6月 (見通し)	0.0	8.1	73.0	13.5	5.4	-10.8	
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	0.0	12.5	64.0	18.8	4.7	-11.0	
	4～6月 (見通し)	1.6	15.6	62.5	20.3	0.0	-3.1	



(2) 現金・預金

[1~3月期の実績] 現金・預金(前期比)については、「増加した」と答えた企業が18.1%(前期21.1%)、「減少した」が38.2%(前期30.8%)であることからDIは 20.1(同 9.1)と低下した。

[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「増加する」とみる企業が10.2%、「減少する」が37.2%であることから、DIは 27.0と低下する見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

[1~3月期の実績] 金融機関借入金(前期比)については、「増加した」と答えた企業が18.5%(前期20.9%)、「減少した」が30.8%(同32.7%)であることからDIは 12.3(同 11.8)と低下した。

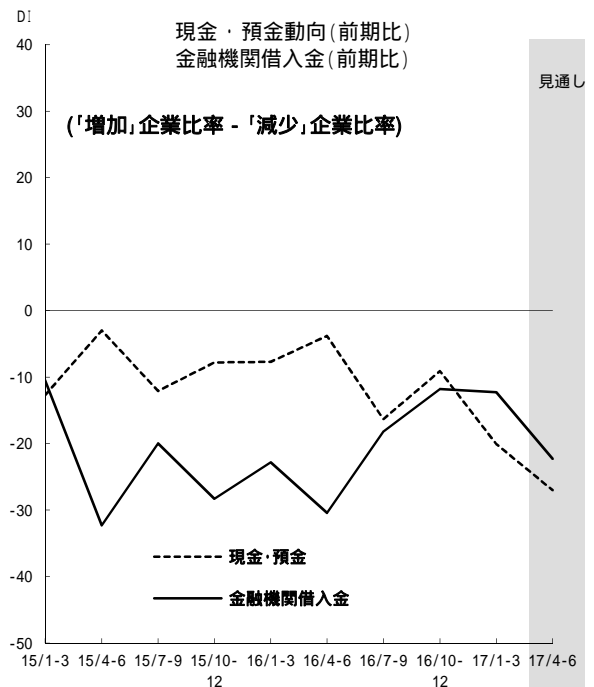
[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「増加する」とみる企業が13.2%、「減少する」が35.5%であることから、DIは 22.3と低下する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1~3月(実績)	0.7	17.4	43.7	31.5	6.7	-20.1
	4~6月(見通し)	0.7	9.5	52.6	31.1	6.1	-27.0

金融機関借入金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1~3月(実績)	0.7	17.8	50.7	24.0	6.8	-12.3
	4~6月(見通し)	2.8	10.4	51.3	29.2	6.3	-22.3



#### (4) 販売代金回収期間

[1~3月期の実績] 販売代金回収期間(前期比)については、「短くなった」とする企業が0.0%(前期1.9%)、「長くなった」が10.1%(同7.0%)であることから、DIは10.1(同5.1)となった。また89.9%(同91.1%)の企業は「変わらない」としている。

[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「短くなる」とみる企業が2.7%、「長くなる」が6.1%であることから、DIは3.4となる。また、91.2%の企業は「変わらない」とみている。

#### (5) 仕入代金決済期間

[1~3月期の実績] 仕入代金決済期間(前期比)については「長くなった」とする企業が1.3%(前期0.6%)、「短くなった」が2.0%(同1.9%)であることから、DIは0.7(前期1.3)となった。また、96.7%(前期97.5%)の企業は「変わらない」としている。

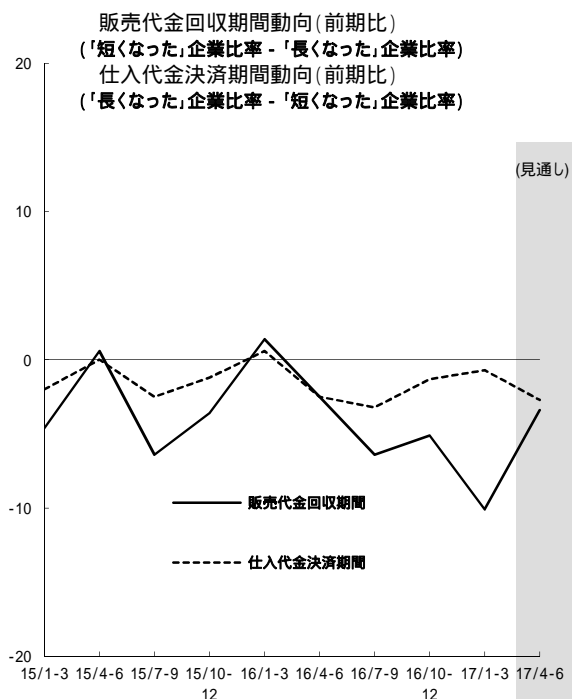
[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「長くなる」とみる企業が2.0%、「短くなる」が4.7%であることから、DIは2.7となる。また、93.3%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		(%)					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	1~3月 (実績)	0.0	0.0	89.9	10.1	0.0	-10.1
	4~6月 (見通し)	0.0	2.7	91.2	6.1	0.0	-3.4

仕入代金決済期間(前期比)

		(%)					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	1~3月 (実績)	0.0	1.3	96.7	2.0	0.0	-0.7
	4~6月 (見通し)	0.0	2.0	93.3	4.7	0.0	-2.7





## 5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は全業種「売上・受注不振」と「人手不足」～

1～3月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」25.8%（前期26.4%）、「人手不足」15.9%（前期18.0%）、「収益不振」12.5%（同11.3%）、「過当競争」10.0%（前回11.3%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」が27.4%で1位、「原材料・仕入価格高」が16.7%で2位、「人手不足」が15.5%で3位となった。

建設業では「売上・受注不振」が24.6%で1位となり、「過当競争」が20.0%で2位、「人手不足」が18.5%で3位となった。

卸・小売業では「売上・受注不振」が26.7%で1位、「人手不足」が14.7%で2位、「原材料・仕入価格高」が13.8%で3位となっている

### 経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

